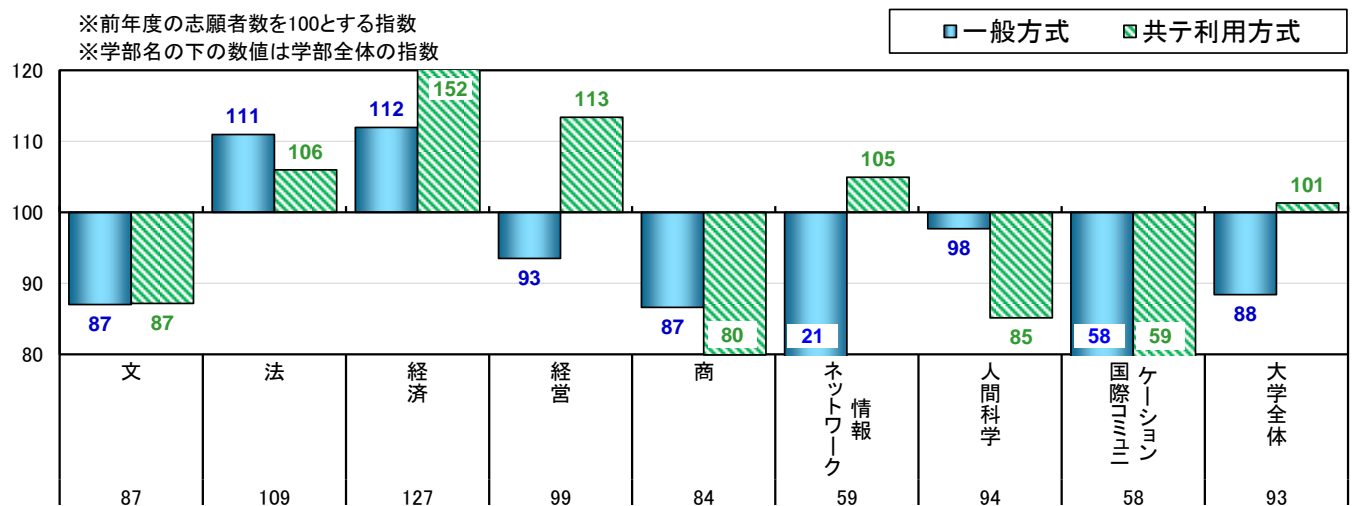


2021 年度入試状況分析【私立大】

専修大：大学全体では2年連続減少、6学部中4学部が減少 一般：-3,870人 共テ：+227人



入試変更点 入試科目：ネットワーク情報(ネットワーク情報)〈一般・前期A方式〉、〈全学部統一〉、〈後期〉
…個別：国+外+(歴公 or 数)→個別：国+外+(歴公 or 数)、共テ：数①
※共通テストの数①受験を必須とし、合計点には含めず、基準点以上を合格判定対象に

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、3,643人(93)のやや減少で2年連続減少。方式別では、一般方式(88)は2年連続減少。共通テスト利用方式(101)は前年度大幅減少の反動は小さく微増に留まった。学部別では、経済(127)、法(109)を除く6学部は、いずれも減少。

<一般方式>

- 文(87)は、前年度大幅減少の反動はなく減少で、2年連続減少。学科別では6学科中、(英語英米文)(117)のみ増加。これを除く5学科は減少で、(環境地理)(91)のみ減少、その他の4学科はいずれも大幅減少。
- 法(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(政治)(117)は前年度減少の反動で大幅増加。(法律)(109)は前年度大幅減少の反動で増加。
- 経済(112)は、3年連続増加。(経済)から2学科に改組し2年目の(生活環境経済)(189)は激増、志願倍率も7.8倍→13.4倍にアップ。一方で、(現代経済)(82)は大幅減少と対照的。(国際経済)(107)は2年連続増加。
- 経営(93)は、やや減少で3年ぶりに減少。学科別では、(経営)(93)、(ビジネスデザイン)(95)で、いずれもやや減少。
- 商(87)は、2年連続減少。学科別では(マーケティング)(86)は4年連続増加の反動で減少。(会計)(89)は2年連続減少。
- ネットワーク情報(21)は、〈全学部統一〉〈前期A方式〉〈後期〉が、一般方式から共通テスト利用方式に変わったことで、集計上は激減。以上の3方式を除いても(60)の大幅減少。募集単位別では、〈全国〉(37)は、募集人員減少(募集人員の前年度対比指数67)もあって激減、〈スカラ〉(47)の半減以下の減少。
- 人間科学(98)は、前年度減少の反動はなく微減で、2年連続減少。学科別では、(社会)(103)はやや増加で、3年ぶりに増加。(心理)(92)は、前年度大幅減少の反動はなく減少で、2年連続減少。
- 国際コミュニケーション(58)は、コロナ禍の影響による系統の人気低下もあり、新設2年目で大幅減少。志願倍率は27.4倍→16.1倍に大幅ダウン。学科別では、(日本語)(57)、(異文化コミュニケーション)(58)はいずれも大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(87)は、前年度大幅減少の反動はなく減少で2年連続減少。学科別では、(環境地理)(158)、(ジャーナリズム)(130)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。その他の4学科はいずれも減少、特に(哲学)(55)は半減近い大幅減少。
- 法(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。2017年度より、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(政治)(117)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で(法律)(101)は、前年度大幅減少の反動は小さく微増に留まった。
- 経済(152)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2016年度より、前年度の反動による増減が継続。学科別では、改組2年目の(生活環境経済)(339)は3倍以上の激増だが、(現代経済)(97)はやや減少と対照的。(国際経済)(140)は前年度大幅減少の反動で大幅増加し、志願者数は2年ぶりに1,200人を上回った。
- 経営(113)は、前年度大半減以下だった反動は小さく増加に留まった。学科別では、(ビジネスデザイン)(190)は、前年度激減の反動で激増。(経営)(90)は前年度半減以下の反動はなく減少で、2年連続減少。
- 商(57)は、6年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(会計)(79)は大幅減少で、2年連続減少。(マーケティング)(80)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- ネットワーク情報(105)は、集計上はやや増加だが、一般方式から共通テスト利用方式に変わった〈全学部統一〉〈前期A方式〉〈後期〉の3方式を除くと(76)の大幅減少で2年連続減少。
- 人間科学(85)は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(心理)(103)はやや増加、(社会)(73)は大幅減少。
- 国際コミュニケーション(59)は、コロナ禍の影響による系統の人気低下もあり、新設2年目で大幅減少。